



辻川だより

第33号 [2015 春号] 平成27年4月4日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ http://www10.plala.or.jp
/tujikawa/public_html/

昨年末～1月 公民館周辺がきれいに



この度、辻川区では文化委員会を発足させることにしました。辻川区が自治会を運営する中で、文化的な行事・事業について、区民から広く、率直で積極的な意見、提言を求める必要性が近年増していました。そこで、区民の中から経験の豊富な方7名に委員を委嘱したわけです。福崎町では周知のように、辻川界隈を町の観光拠点として、民俗学の父柳田國男・三木家・もちむぎなどに焦点を当てた整備をすすめています。街並みの整備、学問成就の道など辻川山周辺の整備、池から河童、山から天狗…つぎつぎと新たな観光スポットが打ち出されています。とはいえ、住民不在では観光も文化も成り立ちません。これからはさらに町の施策と歩調を合わせた取り組みや辻川区の自治会としての独自性が重要になってくると思います。文化委員会の発足を機に、地域の皆さまの力を結集して地域づくりに取り組みむ体制づくりを進めたいと考えます。今後とも協力いただきますようお願いいたします。

地域の協力体制づくり

区長 釜坂道弘



3/8 河童の顔出しパネル



辻川山山頂の望郷の丘(工事中)

協議員会は今

- 2・3月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。
- 1 協議員の担当分担確認
- 2 第2回グランドゴルフ大会の内容確認。準備は体育委員を中心に。
- 3 辻川界隈展を「民俗辻広場まつり」に併せて開催検討。そのための文化委員委嘱と打ち合わせを2月中旬。
- 4 自律(立)のまちづくり交付金事業について、案内マップ設置の推進と3月自治会活動発表会で辻川区が防災関連の取り組みを報告。
- 5 今年度秋の自主防災訓練で要援護者とその支援者の情報確認を隣保単位で実施。

辻川界隈展を春に

「辻川まるごと界隈展」と銘打ち、鈴の森神社から旧道を巡るスタンブラーを、4月25日の民俗辻広場まつりに併せて実施することになった。区内8箇所のチェックポイントには昔懐かしい写真が展示され、鈴の森神社境内では古宮の火打石で火起こし体験も。スタンプがそろった人には「豪華景品」進呈!奮ってご参加を。

4/29 第2回辻川区グランドゴルフ大会

- ★ 8時30分開会(雨天中止)
- ★ 会場: 辻川山の町民第1グランド
- ★ 個人戦・ジュニア戦・ブロック対抗戦
- ★ 全ホールにホールインワン賞



とんど

《当面の予定》

- 4月25日(土) 民俗辻広場まつり(福崎町主催)協賛辻川界隈展
- 4月29日(祝) 第2回グランドゴルフ大会
- 5月17日(日) 溝普請
- 6月 フラワーポット植替
- 7月4日(土) 隣保長・各種団体役員会議

祭礼行事報告

- ◇ 1月13日 正月祭り
- ◇ 1月11日(日) 冬えびす



合格祈願祭

◇ 1月14日(水) とんど

鈴の森神社では学校が終わってとんできた、書き初めを持った小学生の姿が目についた。お神酒とおもちと子供たちと…あったかくなった。以上十四隣保 以下十五隣保

◇ 2月3日(火) 節分 年越祭 十五隣保最初の祭儀。鈴の森神社には約二十名の参拝があった(高藤稲荷はもう少し多いかな)。火の警戒と始末は消防団の担当。この伝統が地域をつくる。歳灯とお神酒とミカン、みんな違ってみんないい! ◇ 2月11日(祝) 初午祭 三十数名のお参りがあった。参拝者には赤飯のおむすびとミカンが振る舞われ、子ども相撲には9組の参加があった。

事業報告

◆ 1月11日(日) 鈴の森神社合格祈願祭

昨年に引き続き、町の提案を受けて辻川区主催で実施(町行政は宗教的行事には関われないため)。当日は辻川から六名、区外から五名の受験生が参加し、本殿でご祈祷と絵馬奉納の後、「学問成就の道」を巡り志望校合格を祈った。辻川では従来(14年前)から中学PTAが3年生の合格祈願を「冬えびす」に併せて行っていたが、今回から観光協会が広く一般公募し(広報ふくさき12月号参照)、日程は「冬えびす」に併せることになった。



昨年の 第1回は 町教委の 松岡家五 兄弟石像

除幕式等に併せて実施する予定だったが、降雪のため合格祈願祭のみを2月8日に行った。今回は「学問成就の道」に昨年未からのぼりがあった。これは「河童」の見物客や初詣の皆さまにもこの道を巡ってもらいたいという区や町の計らいである。さて、その効果は?そして御利益の程は?



年末12/27 のぼり準備

◆ 1月18日(日) 平成27年度辻川区総会 八七名出席。第14号議案承認。区長・協議員(投票率41%)を選出(裏面参照)。会

計監査役より事業経費決裁に 関して区長決裁制度化の要望 あり。

その他の報告として、自治会 法人化に向けての規約改正に 関して、「葬具会計」を「財政 積立」へ組み入れる提案がなされ たが時期尚早との意見を受 け来年度総会で議事として取 り上げることになった。また、 今年予定している屋台一部改 修(泥台破損取替えや電飾のLED化等)に関しては文化庁の 助成金を申請中とのこと。

新隣保長会議

- ① ブロック長の選出
- ② 町内会費徴収について
- ③ 254月行事・事業確認
- ④ 十五隣保から平成27年度祭礼行事日程について

「要望」隣保から養老院東のスピーカー再点検を↓点検完了

◆ 3月1日(日) 消火栓訓練 雨天のため中止。なお、秋に予定している自主防災訓練では事前に各隣保に、隣保内の要援護者情報の収集をお願いする予定。その上で平成28年度には、22年の辻川区防災計画策定から始まるこの6年間の取り組みの集大成として辻川区を挙げた総合自主防災訓練ができればと考えている。

自治会活動発表会

町の自律(立)のまちづくり交付金制度対象事業報告会(於エルテホール)で、辻川区がこの2年間の防災関係の取り組みを報告。他地区より一歩進んだ取り組みに高い評価を得た。

区長 釜坂 道弘
副区長 鈴木 健文(総務)
会 計 前田 亮平
協議員 ()は主な担当

団体役員 (代表のみ紹介)
老人会 塩見 正 (第1号)
徳沢 秀樹 (第2号)
上延 泰子 (第3号)

井上 良宣(文化)
川端 一郎(体育)
植田 弘造(環境)
田崎 正和(広報)
山下 美紀(環境)
鈴木 智久(文化)
鈴木 和満(土木)
内藤 至(体育)

女性部 古井 智世
商工会 植田 弘造
農業部会 上延 英一
消防団 浅井 信人
青年団 田中 翔真
小学PTA 大杉 昭徳
中学PTA 植田 長務
上派遣役員
民生委員 鈴木まき子
釜坂真理子
福祉委員 岡本徳子
松岡初子
補導委員 駒田富男
松岡博子
人権教育推進委員
青少年健全育成委員 川端一郎
体育普及員 駒田仁
文化財協力委員 田崎正和

隣保長 (◎はブロック長)
1ブロック [世帯数]
1 小谷喜多男 [三]
2 川端 裕介 [三]
◎ 3 松岡 弘 [三]
1 4 大浦 克之 [一]
2ブロック
4 福永 裕一 [一]
◎ 5 上延 英一 [一]
6 鈴木 昌吾 [一]
7 東 香壽美 [一]
3ブロック
1 0 藤本 武尊 [一]
1 1 北池 陽子 [一]
1 2 藤沢 春雄 [一]
◎ 1 3 後藤 嘉雄 [一]
4ブロック
◎ 1 3 松岡 秀隆 [一]
8 北野 雄三 [一]
1 5 松田 耕二 [一]
2 0 三輪 司 [一]
2 1 本池 達也 [一]
5ブロック
◎ 1 9 森下 洋三 [一]
1 8 西田 和子 [一]
1 7 後藤 靖彦 [一]
1 6 井上 良宣 [一]
宮当番
1 5 松田 耕二 [一]
2 0 三輪 司 [一]
2 1 本池 達也 [一]

災害に備える 8

地震対策 ②

阪神淡路大震災から20年が経ちました。6400人余りの犠牲者のうち約半数が65才以上でした。直接死5500人弱のうち約73%が窒息・圧死だったそうです。木造家屋が倒壊し下敷きになった人が大半で、特に1階で就寝中に圧死した人が多かったそうです。窒息・圧死のうち約10%は室内家具の転倒によるものと推定されています。家具の転倒・落下は「震度5強」以上で発生します。2009年発表の県の被害想定では山崎断層系の最大マグニチュードを8.0、建物倒壊による死者を約3700人としています。福岡市の最大震度は6弱とし、固定していない家具の大半が移動し、倒れる

ものもあるとしています。もちろん、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下することもあります。今号の地震対策では、被害を小さくするために私たちが今すぐできること、地震時や避難時の注意点を取り上げます。

家具の転倒から命を守る

①家具を減らす。②家具を固定する。③家具の配置を変える。以上3つのポイントがある。

①は、まず身の周りの整理から。不要な家具を処分する。

②は、左の図と説明を参考に、出来ることから始める。テーブルの脚裏やテレビ・パソコンには耐震粘着マットを貼る。

③は、倒れても下敷きにならない方向・位置へ配置を変えたり、タンスの上に危険なものを載せないように。空から見下ろしたときに、建物の形が長方形の場合は短辺方向に揺れることが多い。家具を固定する前に、

倒れにくい方向に家具を移動しておくことが肝要。

身近にあれば便利なもの

懐中電灯とスリッパ(割れたガラスが散乱しは常に身近に置きたい。さらに出来ることなら食糧等を備蓄したい。大地震が発生したときには支援物資が行き渡るまでに1週間くらいかかる。ライフラインがすべて寸断していることを想定して、**食糧**：そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの(賞味期限に注意。定期的な入れ替えを)。水：飲料水は1人1日3リットルが目安。生活用水はポリタンクやペットボトルなどで保存。風呂の水を残しておくのも便利。生活用品：眼鏡や常備薬など生活に不可欠なものに加え、紙おむつや粉ミルクなど家庭の状況に応じて準備。軍手やレジャーシート、マッチ・ライターなども役立つ。

地震発生

①まず自分の身を守る。丈夫なテーブルや机の下へ隠れ、脚を持つ。座布団や枕で頭を守る。

②火の始末 ③出口の確保

家から出る時の注意点

①慌てて外に飛び出さない。

②コンセントを抜き、ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす。

③必ず靴を履いて、座布団などで頭を保護しながら出る。子供を一人では出さない。④荷物は肩に担ぐかリュックに(両手をあける)。④避難は歩いて。

編集後記

町のホームページの「防災情報」には非常時持出品や避難時の注意点が具体的に示されています。「あの時、()しておけば……」後悔先に立たず。声を掛け合って対策を進めましょう。次号ではお得な耐震改修の特集します。防災特集のラストです。(田崎)

家具の転倒防止

タンスのとめ方
壁に柱が直接出していない場合は、壁の表面をたたいて位置を確認し、壁の中の間柱や胴縁に固定する。

●背の高い家具

付鴨居の補強
付鴨居は柱にしっかり固定されていないので、必ず金具で柱にとめる

L型金具でとめる
タンスの骨組みの丈夫なところへとめる
天井に近ければ、つっぱり棒で固定する

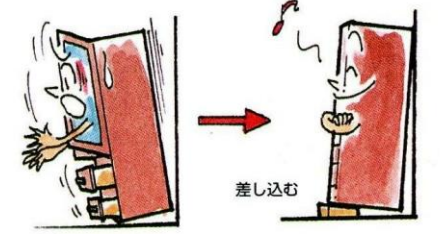
針金でとめる
ヒートンは直角方向にねじ込む
針金2本
30度以下とする

●背の低い家具
鴨居に布製ベルトでとめる

食器棚のとめ方
ヒートン
針金2本
ガラス飛散防止用のフィルムを貼る
やわらかい敷物を敷いて、中のものがすべり出さないようにする
「さん」をつけて、中のものが倒れないようにする
木やアルミの棒

固定できないときは

- 家具の下を少し前へ出し、背面の壁にもたれかけさせる。
- 硬い床の上に置き、畳やじゅうたんの上に置かざるを得ないときは、下にベニヤ板を敷く。
- 下には重いもの、上に軽いものを収納し、ガラスケース、鏡、アイロン、テレビ、ラジカセなどを置かない。
- 窓ガラスを背に置かない。



上の図と説明は、姫路市発行の「姫路の防災」1998から引用しました。